

令和2年度 第1回退院調整担当者会議事録

令和2年7月9日(木)

14時～15時30分

医師会会議室

1.はじめに

1)出欠者確認

出席者 23名 (うち Zoom での出席:信愛医療療育センター、牧野俊樹・高橋恵津子)

欠席者 1名(豊川青山病院 椎名 知づる)

2)資料の確認

2.令和2年度、退院調整担当者会の委員紹介(別紙参照)

司会)定刻になりましたので、令和2年度第1回の退院調整担当者会をはじめます。

最初に自己紹介をお願いします。

3.今年度の役員について

司会者)退院調整担当者会では、一昨年から会長1名、副会長2名で運営を行っていますが、この役員構成についてご意見のある方はお願いします。(承認)

役員について、自薦あれば挙手をお願いします。(なし)

(前年度会長の佐藤にて選出。)

令和2年度

会長:佐藤一志

副会長:志田昌代・中沼清美

4.今年度の活動方法について

司会)このようなコロナ渦の状況の中、これまで通りの形式では、会の運用が難しいと思います。本日も信愛医療療育センターの方々に Zoom でご参加頂いており、この会としてもトライになっていると思います。すでにそれぞれの施設で Zoom 会議をされている方も見えるのでご意見をお聞きしたいと思います。

委員)介護事業者でも4月から一同に会する機会はなくなった。Zoom に関する運営ノウハウが無いので、一方方向ではなく、双方での意見交換は難しい。集まらなくても良いので便利な部分はあるが、トライ&エラーでやっていく項目かなと思う。

司会)実際に会うのと併用していても良いのかなと思うが、事業所で実際にやってみえる所はありますか

委員)グループ内のメリットとしては、移動時間がない事だが、集まって顔を見て相談することが出来なくなったことがさみしい。会議後の雑談等、直接、会って力をもらうことがあるので上手く併用できると良い。

司会)今後、オンラインを取り入れていくことについてはどうですか？

委員)自分も含めてノウハウが無いので事前説明があると良い。

司会) 医療療育センターは初のオンラインだが、スムーズに出来ましたか

委員) 事前に頂いたもの(ミーティング ID)でスムーズに入れた。

司会) 今後の活動としては一部 Zoom を取り入れてやっていきたいと考えています。

5.活動目標について

司会) 年間目標の案について説明します。(サポセンより説明)

内容についてご意見のある方はお願いします。

委員) 1-③共通診断書については、豊橋の老健の方が見えて、同じものを作られたと聞きました。

サポセン) 昨年、問い合わせがあった内容ですが、進んでいるのですね。

委員) 活動内容は高齢者だけでなく、子供たちにも適用できるので、考えていきたい。

司会) 目標の案をベースに作っていききたいと思います。

6.研修計画(案)について

司会) 昨年度の概要が記載してあります。昨年は役員がサポートの役割を担う形で行いました。

追加講演はコロナで中止となりましたが、最初に計画したものは全て開催することが出来ました。

皆さんのご意見を聞きしたいと思います。

委員) 今年度はコロナの事もあるので、研修会、グループワークがどの程度出来るか気になる。

セミナーメインの方が良いのではないかと。

委員) 昨年は ACP に参加させて頂いたが参加しづらい時間帯だった。看護部に参加して欲しいけど 18 時からでは促せない。オンラインが出来るのであれば、参加を促せる。

委員) 今年は、集まって事例検討するより、研修メインで行った方が良い。

委員) この研修会はいつも多くの方が集り、盛況だが、今年はオンラインを検討すべきと考えます。

委員) 事例を検討していくことは大切なので、オンラインを活用してでもやっていきたい。

委員) 昨年は ACP に参加させてもらったが、研修会は開催が難しいと思う。しかし、勉強する機会が減るのは良くない。最近、ほいっふ@電子帳上でチャット形式を使ってみたけど、上手く出来なかった。Zoom を使えるならその方が良い。

委員) オンラインでやるのかな、昨日、別の会で使ってみたけど良かったので…。

委員) 昨年は人工呼吸器担当だった。開催までに集まって話を詰める必要があるが、当事業所では PC がいつでも使えるわけではない。準備を含めてどのように進めるかは、各事業所の環境を確認する必要がある。

委員) このような研修があることは知っていたが、この会が主催しているとは知らなかった。当事業所では末端まで情報が伝わらないのでどのように伝えるかが課題である。

委員) 研修の開催時間や曜日が参加出来にくい時間帯である。

委員) 昨年までは参加していなかったが昨年の結果を見させて頂くと、同じ形式の会は難しいと思う。Zoom 等を使った研修が良いが今から設備を整える必要がある。今年はたたき台としてやっていけると良い。

委員) 事例検討がいいなと思っている。目から鱗、感覚の違いは大事。5 人くらいのオンライン飲み会は楽しいので Zoom を活用出来ると良い。

委員)今はオンラインの設備が無いので取り入れていきたい。

委員)オンライン環境がネックになってくるが、環境を整えるように頑張っていきたい。

委員)私は2年続けてACPに関わらせて頂いた。学びがあるので継続していけたら良いと思う。オンラインを取り入れて患者にも参加してもらえそうな研修が出来ると良い。

委員)今年からこの会に参加させて頂く、昨年までは病院のスタッフにここの活動が浸透している状況ではなかった。当院の場合、スタッフがPCに触れる環境ではなかった為、新病院では電子カルテ導入で準備しているが、どうやって取り入れたら良いかわからない状況。まずは、環境づくりからやっていきたい。

委員)昨年のアンケートの結果を見ても参加しなかった人は知らなかった方が多い。組織内で広報していくことが大切なので、今年はそこに取り組んで行く。オンラインについては、私自身も得意ではないが、教えて貰えれば出来る。WEB研修も聞きやすいので良いと思う。

委員)今、皆さんの意見を聞いていて浮かんだことだが、研修資料や動画を一定期間挙げて置いてレポート提出するというのも良い。

委員)研修当日も必要だが、事前準備についてのやり取り、オンラインのやり方自体わからないので上手く、連動していくのか心配している。上手く進めて行けるといいなと思う。

サポセン)医師会の会議室も昼間であれば、ほぼ使うことが出来る。感染対策を行いながら、小人数なら集まっても良いと思うので、グループ毎にどのように準備を進めるか、研修内容も含めて柔軟に考えて進めてもらいたい。

司会)Zoom上でグループワークも出来る。グループセッションも出来る。ハード面での温度差があるようだが、オンラインに関するコロナ補助金もあるようなので、検討されてはどうか、担当については、役員で4Gに分けさせて頂く。(希望も募るが…)

7.退院調整担当者会の会則について

別紙参照 紙面に沿って説明。まだ、決定ではないが、ご意見があれば連絡をお願いします。

8.新型コロナ感染対策(資料:オリーブの活動内容、段階別シート)

平野委員)ゴールデンウィークあたりは、かなり緊張していた。その時は横の繋がりが途絶えていたので、厚労省のものを参考にした。6月に入り情報共有を目的にまとめを作ってみた。

私自身は千葉と札幌の老健を定点で追って見てきた。私は陽性者が出たら入院出来ると思っていたが、実際は、そうではなかった。大変な状況にあったことが手に取るようにわかるので是非、見て頂きたい。結果的に陽性者を避難させるのではなく、陰性者を避難させる方が良いとの結果だった。行き当たりばったりでやって来たことをまとめてみると出来ていない事もあるなど感じている。今の課題は段階別のゼロレベルの上、「面会はどこまで許可するか、外出、外泊は？」ルール化されていないので、情報共有が必要。

介護の場合はシートでは記入できないので、アンケート形式でやった方が良いという意見が多い。

豊川市内は失敗が無かったので、情報を共有できれば良いと思う。

司会)共有できる方法があるか、共有できる場所があると良いが…。

委員)こういうふうにしたら良いと決まり事があると良い。あの病院は良かったのにと患者から言われ

ることがある。

司会) 管理者会ではどうか

サポセン) 取り組みの早い、遅いはあるが、やっていることに大きな差は無かった。今は、面会制限等の解除をどのようにしていくかは共通の悩みだった。情報共有はしても統一するところまでは至っていない。

司会) 情報共有の場所はどこかに設けられるのか、介護ではアンケート方式でやっていく方向だが、委員) 面会制限しているけど、ほいっふ@連絡帳で皆さんに聞くのはどうか、どうしようもない内容でも良いか

司会) ほいっふ@連絡帳の主旨としては問題ない。

委員) 警報出てるけど、今日やってる？ マスクはあるけどアルコールある？ 等。

物々交換した事例もある。災害掲示板は介護では活用しているが医療にはあるのか？

司会) ほいっふ@連絡帳を活用して頂きたい。

全体的なところでご意見のある方は見えますか？

委員) アンケートはどのようになっているか

サポセン) 返信が少ないので、再度ほいっふ@連絡帳に載せることにする。締め切りを決めていなかったのでも7月末を締め切りとして再依頼します。

司会) Zoomの聞こえはどうでしたか？ 医師会の設備を利用しているが、これだけの人数になると集音マイクの設置場所が難しい。聞き取りにくいところがあったと思いますが、ご協力ありがとうございました。以上で終了します。



令和2年度、退院調整担当者会の活動目標

2020.7.9

年間目標	医療・介護間で平時から連携の仕組みが出来る
1	日常的にスムーズな情報交換が出来る環境を作る ① 市内全ての病院に於いて相談窓口及び担当者を開示する。 ② 電子@連絡帳の活用拡大を行う。 災害時の連絡ツールとしての活用方法を検討する。 ③ 介護施設共通診断書の広域での活用を進める。 ④ 豊川市内病院と地域との連携に関するアンケート調査を実施する
2	市内病院・診療所の対応可能な在宅医療について情報をまとめ開示する。 ① 市内の病院機能とレスパイト等の入院受け入れ条件を開示する。 ② 認知症に対応できる病院・クリニックの情報を開示する。 ③ 訪問リハ・通所リハ事業所の情報シートを作成し、開示する。
3	地域連携フロー図・連携シート・人工呼吸器パンフレット等の認知度と利用度を高める ① 医療・介護合同研修会でパンフレットに沿った研修を実施する ② 市内病院の新規採用者及び退院調整担当者の新メンバーにパンフレットを配布する。 ③ 毎年1回、追加・修正を行い、内容の更新を図る。
4	災害時(感染対策含む)の対応基準を作る。 ① 施設毎の対策について情報共有を行う。 ② 共通の災害時対応リストを作成する。 ③ 医療依存度の高い患者の災害時対応リストを事例毎に検討する。